

質問回答書

番号	書類名 (該当頁)	質問事項	回答
1	実施要領 (p.5 10(2))	システム機能に関する評価について、業者選定により契約候補者に選定された場合においても、直後の打合せにより機能確認区分「A」及び「B」の回答に虚偽が散見される場合は、契約候補者もしくは契約者としての資格を失うなど、一定のペナルティが課されることになる認識でよろしいでしょうか。	当該項目に限らず、提出書類に虚偽記載があった場合には、厳正に対処します。提出書類の内容は提案者が責任を持って正確な内容を記載してください。
2	業務仕様書 (p.1 5、エ、オ)	「システム品質向上を支援できる体制であること」「成果物の品質確保ができる体制」とありますが、同仕様を満たす体制として、受注者は、製品・サービスの品質向上を目的とした品質マネジメントシステムに関する公的認証であるISO9001を取得している必要がある認識でよろしいでしょうか。	ISO9001の取得を必須条件とするものではありません。
3	業務仕様書 (p.2 6)	提案システムについて、提案時点で受注者がもつ最新バージョンのシステムパッケージを導入する認識でよろしいでしょうか。	最新バージョンのシステムパッケージの導入を必須とするものではありません。 提案時点で受注者が保有するシステムパッケージについて、最新バージョンに限らず、現行システムを含め、仕様書に定める機能・要件を満たすものであれば導入可能です。
4	業務仕様書 (p.6 10(3))	「移行データに関する質疑応答は...その回数は10回を限度とします」と記載がありますが、現行業者様からの提供データに不備や不具合等が発生した場合に質疑を行う場合は、質問回数としてカウントされない認識でよろしいでしょうか。	データそのものの正誤やデータ不整合に関する質疑応答は質問回数としてカウントしません。 受託業者からの質疑内容に応じて現行業者へ確認するかどうかについては本市にて判断するものとし、現行業者へ確認が必要な場合は質問回数としてカウントをします。
5	業務仕様書 (p.6 10(3))	現行業者様からの移行データの提供回数は3回とありますが、確実かつ正確にデータ移行を進めるために、第1回目の提供時期は、2026年度中としていただけますでしょうか。移行データの検証開始が遅延する場合は納期にも影響が発生する可能性があります。	2026年度内の第1回目の移行データ提供については、本市と現行業者との調整が必要となるため、現時点では確約できません。 なお、第1回目の移行データの提供には、本プロポーザルによる受託業者決定後、本市と現行業者とのデータ抽出業務に係る契約を締結し、その後4か月程度を要する見込みです。この期間を考慮した作業スケジュールをご提案ください。

質問回答書

番号	書類名 (該当頁)	質問事項	回答
6	業務仕様書 (p.8 15)	次期システムへのデータ移行作業に関する対応費経費については、「有償」か「無償」かのみを回答するのではなく、有償である場合は参考費用を提案書に記載する認識でよろしいでしょうか。	ご認識のとおりです。
7	業務仕様書 (p.9 16(4))	更新パターンの見積方法について、①②ともに、システム用機器の調達には費用に含めず、①は、データセンター及び仮想サーバ、クライアント、プリンタ、検針機器、その他機器などが新たになることを想定し、必要となる設定作業やテスト等を行う場合の作業費用、②は①の作業費用にくわえ、システムのサポート期限到来などによるシステムバージョンアップを提案する場合の作業費の概算費用を記載する認識でよろしいでしょうか。	①は機器仕様書に示す機器のうち発注者が提供するクライアント機器を除く機器で、更新が必要となるものについて、機器そのものの費用や作業費用等を含む一切の費用を見積もってください。 ②は①に加え、システムバージョンアップを行う場合のシステムそのものの費用および作業費用等を含む一切の費用を見積もってください。
8	業務仕様書 (p.8～9 15、16(1)、(3)、(4))	提案書に記載する見積条件や参考経費については、今後それらに対応する場合の契約において基準となり、正当な理由なく大幅な乖離が発生することは認められない認識でよろしいでしょうか。	ご認識のとおりです。
9	別紙 機器仕様書	プリンタや検針機器等について、現行機器の後継品等を提案する場合においても、納入通知書等のコンビニ収納読み込み不良等、万が一の不具合が発生する場合は住民に対する影響が大きいことを考慮し、印字テストや初回出力時の立ち合い等を行うことが必須である認識でよろしいでしょうか。	ご認識のとおりです。
10	提案書作成要領 (p.1 3(3))	利用を想定するサーバOSまたはシステムのデータベースソフト等のサポートが現時点で本業務の履行期間内に終了する場合は提案不可であり、サポートが保証されているシステムの稼働環境に対応する費用を提案金額に含める必要がある認識でよろしいでしょうか。また、契約期間中にサポートが終了することが発覚した場合は、保守でサポート期間内のシステム稼働環境への対応を想定する必要がある認識でよろしいでしょうか。	契約期間中にサーバOS等のサポート期間が終了する場合でも提案可能であり、対応費用は提案金額に含める必要はありませんが、そのような事態が想定される場合には、その内容と対応の考え方および費用を要する場合はその参考費用を提案書に必ず記載してください。

質問回答書

番号	書類名 (該当頁)	質問事項	回答
11	提案書作成要領 (p.1 3(3))	提案書の記載項目として例示いただいている「基盤環境」に関して、基盤環境としてはCPU等のスペックを除き各提案業者共通の要件となり、セキュリティ対策などのポイントにおいても優劣の比較ができないため記載不要の認識です。本項目において、提案スペックや想定利用料を記載する以外で特筆すべき点はございますでしょうか。	お見込みのとおり、各業者共通でおうみ自治体クラウドの情報基盤を使用いただくため、基盤環境のセキュリティ対策等は記載いただかなくても結構です。想定するサーバスペックおよび想定利用料は必ず記載してください。
12	業務仕様書 (10 現行システムからのデータ移行(3))	仕様書には、データ提供3回、質疑応答10回とあります。これらの上限を超える対応やその他の作業が必要な場合、現行事業者へ条件を確認し、追加費用を見積額に含めて提出する想定でいますが相違ありませんでしょうか。	上限を超える対応等に要する費用は提案金額に含みません。そのような対応が必要な場合は、仕様書10(3)のなお書き以降に記載のとおり、費用負担を含め、発注者、現行業者、受注者の三者で協議するものとします。
13	業務実績 (様式第4号)	実績要件について、①元請事業者として導入・更新・保守のすべてを一貫して対応した実績であるとの認識でよろしいでしょうか。②県内、同規模以上、稼働中を優先して記載予定ですが、他に重視される条件があるか、ご教示ください。	①導入と保守、もしくは更新と保守を元請事業者として一貫して対応した実績を記載してください。 ②本市の業務状況や提案するシステムとの関連性等を踏まえて判断してください。
14	別紙 保守仕様書 保守対応にかかわる事項16	緊急時に120分以内の現場対応が求められる場合、当該対応については元請事業者が責任をもって実施する必要があるとの理解でよろしいでしょうか。 また、120分以内の現場対応を実現可能な拠点を保有していることが要件との理解でよろしいでしょうか。	ご認識のとおりです。
15	別紙 保守仕様書 ハードウェア保守にかかわる事項	保守対象としてサーバ機およびクライアントパソコンが記載されていますが、本調達に含まれない機器は保守対象外との理解でよろしいでしょうか。	ご認識のとおりです。